

令和5年 太田市教育委員会4月定例会会議録

開会年月日	令和5年 4月13日(木曜日) 午後 2時		
閉会年月日	令和5年 4月13日(木曜日) 午後 2時40分		
開会場所	尾島庁舎 3階 教育委員会室		
	議 案 (件 名)	結 果	
	議案第21号 太田市教育支援委員の委嘱について	可決	
出席者	恩 田 由 之 (教育長) 池 田 光 男 (教育長職務代理者) 佐 藤 真太郎 (委員) 倉 嶋 慶 秀 (委員)	欠席委員	野村路子 (委員)
	教育部長、管理担当副部長、指導担当副部長、 教育総務課長、学校施設管理課長、学校施設 管理課主幹、文化財課長、生涯学習課長、学 校教育課長、市立太田高校事務長、教育総務 課総務係長 文化スポーツ部スポーツ担当副部長、文化ス ポーツ部文化芸術担当副部長、(文化スポ ーツ総務課長、スポーツ振興課長、スポーツ学 校担当課長、スポーツ施設管理課長、文化課 長、学習文化課長、美術館・図書館長、芸術 学校担当課長、)福祉こども部副部長(、こども課長) ()は欠席者	書記・記録	田又係長代理
議 題 及 び 議 事 の 大 要			
会議録署名委員の 指名	池 田 光 男 委 員		
	佐 藤 真太郎 委 員		

事務局：

皆様こんにちは。本日は、令和5年度最初の教育委員会になります。4月1日付人事異動がありましたので、4月定例会開会前に、職員の紹介をさせていただきます。それでは、事務局及び関係部局の自己紹介を教育部長から順番にお願いいたします。

- ①小内 教育部長
 - ②長谷川 管理担当副部長
 - ③関口 指導担当副部長
 - ④田部井 教育総務課長
- (以下続く・・・)

ありがとうございました。

それでは、続きまして、教育委員の自己紹介を池田委員より順次お願いいたします。

- ①池田委員
- ②佐藤委員
- ③倉嶋委員

ありがとうございました。なお、本日都合により野村委員は欠席となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、令和5年教育委員会4月定例会となります。傍聴者は、おりません。教育長、進行をお願いいたします。

議長（教育長）：

太田市教育委員会4月定例会を開会いたします。

日程第2、会議録署名委員は、池田委員、佐藤委員にお願いいたします。

次に、日程第3、教育長報告を申し上げます。

令和5年度がスタートしました。新スタッフとともに、「ハウレンソウ」を大切にしながら、チームワーク力を高めて、各部・各課の課題解決、そして市民や子どもたちのためにご尽力いただければと思います。特に、行事が増えてくると思いますので、危機管理やコンプライアンスについても徹底をよろしくお願いいたします。以上です。

続きまして、教育部長より報告をお願いいたします。

教育部長：

改めまして、4月1日から檜原部長の後任として教育部長となりました小内と申します。昨年度は市民生活部におりまして、マイナンバーカードやふるさと納税、1%まちづくり事業等を担当しておりました。教育部では各課様々な問題を抱えております。事業執行にあたり、教育委員の皆様にご指導ご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

前職の話なのですが、予算のあらまし地区懇談会の担当をしておりました。こちらは、市長が各地域で令和5年度の目玉事業や考えていること、アイデア等を話す機会でございます。その中で、教育、子どもに関するものが大変多かったです。例を挙げますと、給食費の無料化、給食調理員の賃金アップ、医療費の無料化、部活動指導員、スイミング、エアコン設置と、市長の教育や子どもたちへの思いがうかがえると思いま

す。これも前年度に取り組まれた業務の成果だと考えております。今後はこれらの円滑な運営、さらなる改善に取り組んでいきたいと考えております。また、これ以外にも、この度完成しました新体育館の方や、令和6年度中に新田庁舎の東に完成予定の西複合施設、大泉町に完成予定の新斎場などの話がございました。

それから、選挙について少し触れさせていただきますと、今年は統一地方選の年でございます。県議会議員が無投票で当選となりました。次は、市議会議員選挙が4月16日公示、23日の投票日となります。こちらは30人の定数を超える候補者が予想され、間違いなく選挙となります。さらに7月23日の県知事選挙と続くこととなります。

さて、新年度となりました。太田市立小・中学校では4月7日に、市立太田高校では4月10日に入学式が挙行されました。まだ、マスクをしている生徒がほとんどでしたが、5月には5類となります。授業の活性化と一日でも早く生徒の笑顔が見られる日が来ればと思っております。

それでは、今年もより一層のご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。本日の委員会は、議案1件、報告要件2件でございます。よろしくご審議いただき、ご承認賜りますようお願いいたします。部長報告とさせていただきます。

議長（教育長）：

ありがとうございました。

次に日程第4、議事に入ります。本日は、協議案件が1件、事務報告が2件ございます。

最初に、議案第21号「太田市教育支援委員の委嘱について」学校教育課長より説明願います。

学校教育課長：

「太田市教育支援委員の委嘱について」【提案理由説明】

議長（教育長）：

只今の説明につきまして、ご質疑等はございませんか。

議長（教育長）：

ないようですので、本案は提案のとおりご承認ということでお願いいたします。

続いて、日程第5、事務報告を取り扱います。最初に「令和4年度学力検査（市費実施）結果について」学校教育課長より報告願います。

学校教育課長：

「令和4年度学力検査（市費実施）結果について」【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はございませんか。

池田委員：

まず第一に、これはどれくらいの費用がかかっているのですか。

学校教育課長：

すぐに金額が出ませんので、後で報告させていただきます。

池田委員：

わかりました。もうひとつよろしいですか。太田市の目標値というのは誰がどういう意図で決めているのですか。

学校教育課長：

目標値につきましては、業者の方が過去30年のデータをもとに示しておるもので、太田市が直接その目標値を設定したということではございません。

池田委員：

わかりました。これを全部見ますと、英語は非常に良いですし、国語はイーブンみたいなものですが、算数と数学が全国より若干下がっているのですね。その辺の原因と対策というのは何かあるのですか。

学校教育課長：

先ほど中学校2年生のところでお伝えしたとおり、一次関数に関するものなど、領域で苦手な部分というのが明確になっていまして、そういうところは各学校で指導方法等を改善していくと思います。あと、やはり全体的に、長文の問題、言葉がたくさん羅列されている問題に弱い傾向があるので、一問一答のような基礎的な問題だけではなくて、長文の問題が解けるような力、そういう部分を授業改善で向上させていきたいと考えております。

池田委員：

算数・数学については、いつもそれほどいい数字が出てこないのですよね。その辺のところを、下の方から対策をしなければいけないと思うのですけれど、いかがなものでしょうか。

学校教育課長：

小学校については、今まで担任だけが授業を教えていたということがあります。特に国語と算数は、担任が教えたいという希望が強いのです。ただ、算数については、やはり専門的な知識をしっかり持っていないと、教え方によってばらつきがあると、学力が伸びません。そこで、現在は小学校5年生以上から教科担当制ということで、

算数・数学の免許を持っていたり、または、得意な先生が教えたりということが標準化されて来ているように思います。

池田委員：

もう少し下の方から何とかならないですかね。小学校1年生とか2年生くらいからとか。

学校教育課長：

やはり、教え方、指導方法というところが、すごく大切になると思います。群馬県では「はばたく群馬の指導プラン」という冊子を作っておきまして、非常にわかりやすく、授業の「どうやって教えたら良いか」ということが書かれております。そういったものも含めて、教材研究等をやる時に、一人の先生だけが考えるのではなくて、学年とか、または太田市としての提案等をしっかりと出していけたらいいと考えております。

議長（教育長）：

よろしいですか。他にございますか。

倉嶋委員：

先ほどの説明の中で、成績の良かった学校の事例を水平展開すると説明があったと思うのですが、具体的にどのように情報共有しているのか教えていただけますか。

学校教育課長：

具体的な学校名はちょっと言えないのですが、ある学校で、一昨年に順番的にはほとんど最下位だった学校なのですけれども、校長先生が奮闘しまして、まずは校長先生のリーダーシップが強くなければいけないということで、校長先生が各授業をしっかりと見て回って、学力向上コーディネーターがおりますので、そのところで、どういうふうに目標を作っていくかというところまで、手を入れていただきました。なおかつ、市の指導主事も一緒に考えていって、その指導方法等で「これはいい」というところを、他の学校にも水平展開したということはございました。学校訪問を年2回行いますけれども、そこで良い取組をしているところを聞きましたら、こちらからどんどん水平展開をしていけたらいいかなと考えております。

倉嶋委員：

先生それぞれの教え方の違いがあるのだと思うのですが、より成績が上げられた先生の事例発表とか、それを文書にするとか、何かそういったマニュアル的な部分で共有できたりするのですか。

学校教育課長：

全ての教材にマニュアルというのはいませんが、教育研究所の研究で、タブレットをうまく使って、こういうふうにやると学力が上がりますよといった事例が、今は、たくさん動画でアップされています。そういうところを先生方に見てもらって、先生方の授業力の向上に役立てております。

池田委員：

今のところで、一番おしまいぐらいの学校が、どのくらいまで上がったのですか。

学校教育課長：

順位的なものでは、令和3年度が27校中24番目だったところが、令和4年度は1番になりました。ただ、24番目だった時の子と令和4年度の比較した子たちは違いますので、たまたま低かった子たちと高かった子たちというのはあるとは思いますが、でも、これだけ上がるというのは、かなり学校で重点を置いたというのはわかりました。

池田委員：

その前の年はどうだったのですか。

学校教育課長：

その前の年は、18番目でした。

池田委員：

わかりました。ありがとうございます。

議長（教育長）：

他にございますか。

佐藤委員：

学校の順番がわかる一覧表があったら、知りたいと個人的に思います。これだけ見ると、どこの学校がどういった学習状況なのか把握できないと思います。市全体がこういう感じなのだなというのはわかるのですが、この学校がこの位置にいて、こういう問題を抱えているのだな、ということが浮き彫りになってきません。3教科ともに低いといった学校があった場合には、やはり何か問題がある、学習以前の要因がある可能性もありますので、学校別の順位表があるとうれしいなと思います。

あともう一つは、これは正答率の平均値になっていると思うのですが、ばらつきがわからないので、標準偏差があったらいいなというのと、あともう一つは中央値ですね。平均値だと2極化している場合があって、ものすごくできる集団とものすごくできない集団があって、その平均値を出しても、平均値のところには全然人がいなかったということもあるかと思うので、中央値も併せて示した方が、表としては妥

当かなと思います。ここからだ、2極化しているかどうかは全く見えてこないと思いますので。

学校教育課長：

学校別については、また後でお見せできるかどうかと検討してお伝えしたいと思います。あと、偏差値ですけれども、偏差値というところでは数値は出せていないというところで、データの方もいただけていないというのは事実です。

佐藤委員：

偏差値はいらぬです。

学校教育課長：

中央値や、点数のばらつきについては、業者の方から各校の結果が出ております。中央値がどこにあるか、山があるのか等、提供されておりますので、そのところを各校の方が対策を考えているというふう聞いております。

佐藤委員：

ばらつきに関しては、値のばらつきなので、点数とは関係ないので、標準偏差ですね。その値を集めた時にどれだけばらつきが存在するのかという、統計的な標準偏差を出した方がいいかなと思います。

学校教育課長：

検討してまいります。

池田委員：

経済格差とか地域格差は、やっぱり教育でこういうふうには是正できるのですかね。今の結果を見ると、私はできるような気がするのですが、いかがですか。

学校教育課長：

例えば高崎市は、全国学力・学習状況調査をやっても非常に高い数値が出ております。やはり地域全体の差というのはあるかなと思います。ただ、学校については先ほど申しましたとおり、低かった学校が高くなるということがありますので、やはりそこは教員の指導力というものがあります。今までは、この先生に教わったから点数が伸びたとか、この先生に教わったから点数が下がってしまったとか、そういうような言い方だったので、教え方をしっかりと共通にもっていければ、必ず点数は上がっていくのではないかと考えております。地域格差のないように、こちらにも努力していきたいと考えております。

池田委員：

ありがとうございます。

倉嶋委員：

先ほど24位が1位になったという事例をお聞きしたのですけれども、逆に良かった学校が著しく下がってしまったというような現象もあるのですか。

学校教育課：

1番が24番になるというようなものまではありません。ただ、一桁の学校だったのが二桁になっていくというのは、年によって結構あります。

倉嶋委員：

そうすると、やはり相乗効果で全体をベースアップしていく方法が必要かなと思います。教員の方々が成功事例などのビデオを見て学ぶというお話が先ほどありましたけれども、しっかりと目標値をたてたプランニングと、途中の実践研修のスキルアップの結果を踏まえて、また新たに計画をたててといったところの、間のスキルアップの部分を、もう少し具体的に先生方が授業がしやすいように、より良い事例を市内だけでなく市外からも取り入れていくといった取組をしていただきたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

学校教育課：

学校では校内研修というのを定期的にやっていて、そこで授業研究会等をしております。また、主任会というのがある、市内の先生が教科ごとに集まって研究するというのもやっております。また、その関東ブロックの大会ですとか、そういうこともやっております。やはりこれだけインターネットが充実しておりますので、太田市内だけではなく、他県の良い取組というの、どんどん先生方に発信していきたいと考えております。

佐藤委員：

学校の結果に対して、学校長や教頭が、こういうウイークポイントがあった、こういういい点があったといった、フィードバックシートみたいなものを書いて提出するといった取組はなされていますか。

学校教育課長：

学校ごとに、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、そして今回の市費の学力検査の結果を踏まえて、どういうふうに学力向上を図っていくかというのは、その都度市教委の方に報告をさせております。そのところで、先ほど言った良い例を他校に水平展開しているということもございます。

佐藤委員：

そのシートは、校長先生が記入されているのでしょうか。

学校養育課長：

まずは、学力向上コーディネーターという担当が作ります。それで、作らせて終わりではなくて、必ずそれは教頭・校長が確認したうえで、そしてそれを職員会議でしっかりと先生方に徹底してから、市教委の方に提出をしてもらっています。

佐藤委員：

ありがとうございます。それでは校長先生のお力が、影響を大きく及ぼすということで、先ほどの事例がありましたけれども、校長先生の戦略的にやっ払いこうというような意識が影響しているのかなと思います。

議長（教育長）：

他にご質疑等はないようですので、次の報告事項「令和4年度進路状況及び令和5年度入学者選抜志願者数の報告について」市立太田高校事務長より報告願います。

市立太田高校事務長：

「令和4年度進路状況及び令和5年度入学者選抜志願者数の報告について」【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はございませんか。

佐藤委員：

素晴らしい進路実績で、本当にすごいと思いますけれども、普通科の男子のその他の7名というのは、何に該当するのでしょうか。

市立太田高校事務長：

浪人する生徒でございます。

佐藤委員：

それでは女子の方の2名というのも同じですか。

市立太田高校事務長：

そのとおりでございます。

佐藤委員：

ありがとうございます。あともう一点ですが、国立大学が34名合格していて、私立大学が大体100名位だと思うのですが、重複している子、頭が良くて5校ぐらい

合格している子がいると思うのですけれど、何人ぐらい重複しているのでしょうか。

市立太田高校事務長：

正確な資料は持ち合わせておりませんが、伺った話によりますと、250位の大学に合格実績としてはいただいているということでございます。

佐藤委員：

同じ生徒が、この大学とこの大学に合格したというようなデータはありますか。

市立太田高校事務長：

本日は持ち合わせておりません。

佐藤委員：

わかりました。これですと塾の結果と同じですので、進学先をどこを選んだのかという方がむしろ重要なのかもしいないと思います。合格ももちろん大事ですけど。実際にそこに進学した子が何人かというデータが、もしあればいただけるとありがたいです。

市立太田高校事務長：

確認して資料をご用意したいと思います。

池田委員：

太田高校、太田女子高校と比べてどうなのですか。

市立太田高校事務長：

大学進学の子供につきましては、過去3年間で139名、152名、155名というふうに、増えてございます。進路担当の先生に伺ったところ、内容的にもレベルがだんだん上がっているという状況でございます。太田高校等に近づきつつあるのかなという印象は持っています。

池田委員：

ありがとうございます。頑張ってもらえるといいですね。

議長（教育長）：

よろしいですか。他に、ご意見等はないようですので、以上で事務報告を終了します。事務局より連絡をお願いいたします。

事務局：

事務局よりご連絡申し上げます。教育委員会5月定例会を5月11日木曜日、午後

2時から、尾島庁舎教育委員会室で開催予定でございます。よろしくお願いいたします。以上です。

議長（教育長）：

以上をもちまして、本日の議事を全て終了し、4月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。